

2022年5月6日

脱“学部学科”、“教教分離”の展開——

学群・学系制の多様な教学運営と実際

～ コンセプト／教員と学生（教育）の組織分離／メリットとデメリット ～

【5月20日（金）オンライン開催】

ご参画・ご派遣のお願い

学士課程の再構築にあたっては、「学位プログラム」の質保証として、①DP・CPに基づく体系的な教育課程と履修システム、②教育（学生）組織と教員組織の“教教分離”、③学位に付記する専攻名称、④設置認可か設置届出か、等の検討を要します。つまり、専門分野・教員組織・教育課程の三者の相互連関の創意工夫による構築です。

本年3月の質保証システム部会の「審議まとめ」において、「学位プログラム」と「教教分離」について、次のように述べています。

——「学位プログラム」は、かつては学生・教員が同じ組織に属し、教育研究活動を一体として行う学部・学科等と一対一対応する形で実施されていたが、学部以外の教育研究上の基本となる組織を置くことができる今日では、教員組織と教育組織を別組織とするいわゆる「教教分離」を導入し、プログラム単位で担当する教員や事務職員を確保し教育体制を整備するなど、必ずしも教員が所属する組織と一対一対応しない「学位プログラム」を実施する大学も存在している

“新構想”の筑波大学において、1973年に先行して導入された「学群・学類／学系制」は国立大学において、1990年代後半の大学院重点化により加速し、“教教分離”型の改組が急増しました。私立大学においては、2005年に桜美林大学が、また公立大学においては、2009年に北九州市立大学と高知工科大学が、「学群制」を先行して導入しています。

「学群制」「教教分離」のメリットとしては、学問の文理融合・学際化や社会からの人財・教育ニーズの多様化に柔軟に対応した教育プログラムをデザインできることにあります。また、複数の学部・学科を統合し大括り化することにより、設置基準上の専任教員必要数を縮減できるという経営上のメリットがあります。

本セミナーでは、3人のコアパースン氏をお招きし、「学位プログラム」「学群学系制」「教教分離」について、理念・コンセプトの論展と事例・実際について、報告いただきます。

第1講の小方直幸氏（香川大学）からは、この間の高等教育政策（教育改革・ガバナンス改革）の流れを振り返りながら、教育組織改革の先行事例を挙げてメリット・デメリットを示した上で、特に国立大学の実践事例について、その実情や実際に学生・教員からの視点、そして今後の「学位プログラム」について、基調となるご講義を賜ります。

第2講の黄梅英氏（尚絅学院大学）からは、2019年に行った再編成（総合人間科学部の1学部と表現文化学科・人間心理学科・子ども学科・現代社会学科・環境構想学科・健康栄養学科の6学科→人文社会学群人文社会学類と健康栄養学群健康栄養学類、心理・教育学群心理学類・子ども学類・学校教育学類の計3学群と5学類）について、その導入の背景や具体的仕組み、さらに横断的学びの取組みについて、ご報告を賜ります。

第3講の畑山浩昭氏（桜美林大学）からは、2005年から07年にかけての学部から学群への完全移行から15年が経ち、移行についてのこれまでの振り返り、学群・学系制の機能、そして、現在の取組みや新たな体制づくり、さらにグローバル化・デジタル化が進む昨今における教学運営の今後や可能性について、ご報告を賜ります。

脱“学部学科”、“教教分離”の展開——

学群・学系制の多様な教学運営と実際

～ コンセプト／教員と学生（教育）の組織分離／メリットとデメリット ～

■講師陣

小方 直幸 氏 / (国) 香川大学 教育学部 教授

黄 梅英 氏 / 尚網学院大学 副学長

畑山 浩昭 氏 / 桜美林大学 学長

■内容

※ 学士課程の再構築と学位プログラム／教育組織改革の先行事例／国立大の実践／学生・教員は

※ [尚網学院大] | 学部6学科から3学群5学類へ／導入の背景／具体の仕組み／横断的学びへ

※ [桜美林大] 学群制へ完全移行15年／現在の取組みと将来構想／グローバル&デジタル化対応

■講義テーマ・項目

●13:00～14:10

□ 学士課程教育の再構築と学位プログラム化

～ 高等教育政策の文脈と大学・学部レベルの取組 ～

小方 直幸 氏 / (国) 香川大学

1. 高等教育政策の文脈

- (1) 教育改革の潮流
- (2) ガバナンス改革の潮流
- (3) 2つの改革の合流

2. 教育組織改革の先行事例

- (1) メリットとして語られていること
- (2) デメリットや課題として認識されていること
- (3) 先行事例に見る改革の現状と到達点

3. 国立大学の実践事例

- (1) 教育組織と教育課程の編成をめぐる実情
- (2) 学生・教員から見た教育改革
- (3) 学位プログラムの行方

●14:20～15:30

□ [尚網学院大] | 学部6学科から3学群5学類への改編

～ “多様な学び”を実現する新しいカタチへ／その成果は ～

黄 梅英 氏 / 尚網学院大学

1. 学群・学系制の導入の背景

- (1) 多様な学生に対応するニーズ
- (2) 現代社会における複雑な社会的課題
- (3) 教育資源を有効的に活用する必要性

2. 多様な学びを実現するための仕組み

- (1) 3学群5学類・1学系8部門
- (2) 現場での実践的学びの推進
- (3) アドバイザー制の導入 — 最適な学びにアドバイス
- (4) 横断的な学びを支えるサポート体制・環境づくり

3. 横断的学びの具体例

- (1) 人文社会学類における幅広い学び
- (2) 心理・教育学群における3学類の連携による相乗効果

- (3) 3年次における学群横断科目の開講
- (4) 専攻を越えた学生同士の学び合い・助け合

●15:40~16:50

□ [桜美林大] 「グローバル」と「デジタル」の時代における教育研究の仕組み
～ 学群制の更なる改善により教学運営をアップデートする ～
畑山 浩昭 氏 / 桜美林大学

- 1. 桜美林大学の学群制の振り返り
 - (1) 設置基準の大綱化と学修区分制の導入
 - (2) 学群制への移行による主体的な学びの強化
 - (3) 学群と学系の機能
 - (4) リベラルアーツ系とプロフェッショナルアーツ系の学群構成
- 2. 現在の取り組みと将来構想
 - (1) 大学の特色や強みの把握：学生の意識調査から
 - (2) Unique & Sharp による新たな理念と中期計画
 - (3) キャンパスの拠点化と独自性の高い学群の展開
 - (4) 学群・学系の新たな体制作り
- 3. グローバル化とデジタル化における教学運営
 - (1) 国際交流からグローバルスタンダードへの意識改革
 - (2) リアルキャンパスとサイバーキャンパス
 - (3) 主な環境変化への対応
 - (4) これからの教学運営の可能性

~~~~~

■ 日時・会場・参加費

○日 時：2022年5月20日（金） 13:00~16:50

○ウェブ会議システム「Zoom」を利用したオンライン開催  
※ 返信メールの送付をもって参加申し込みの完了となりますので、必ずご確認ください。

○参加費：

- A. 当日オンライン参加  
ご一名（資料代含む） 35,000円（税込）
- B. メディア参加  
（資料・音声CD送付） 38,000円（送料、税込）
- C. 高等教育同人 20,000円（税込）

※当日オンライン参加は、ウェブ会議システム「Zoom（ズーム）」を使用予定です。

※メディア参加とは、開催後に当日配布資料及び講義の音声を収録したCDをご送付する参加形式です。

※当日オンライン参加で、さらに音声CDをご希望の方は、その旨お伝えください。「別途CD代」をご案内いたします。

■ 申込方法

所要事項を記入のうえ、E-mail または FAX にてご送付ください。（下記留意事項も必ずお読みください）

※留意事項

- ・参加費の払い戻しはいたしませんので、申し込まれた方が都合の悪い場合は、代理の方がご出席ください。

・ご請求なき場合は、振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

※E-mailでのお問い合わせ・お申込みの際には、  
下記事項を記載いただきますようお願い致します。

セミナー名：学群・学系制の多様な教学運営と実際（5/20 開催）

1. 当日オンライン参加 or メディア参加
2. 勤務先：所在地住所、TEL・FAX
3. 参加者：氏名、所属部課・役職名、メールアドレス
4. 連絡担当者：氏名、所属部課・役職名、メールアドレス
5. その他の特記事項：請求書／見積書／領収書の要・不要  
（「要」の場合は書類に記載する宛名）など

■ 支払方法

「銀行振込」で承ります。

下記、口座への銀行振込でお願いいたします。

みずほ銀行麴町支店 普通 1159880

三菱UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麴町支店 普通 7411658

口座名：(株)地域科学研究会